

ウイルス性肝炎領域における島根県医療安全講習会

■ 背景

B型肝炎およびC型肝炎ウイルスについては、治療せずに放置すると肝硬変や肝がんにつながる恐れがありますが、肝炎ウイルス陽性となっているがまだ治療に結び付いていないケースがあります。昨年改訂された「肝炎対策基本指針」（肝炎対策基本法9条1項）において「医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む」と対策を促されている状況にあります。また令和5年3月9日に厚労省から「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼」（健発0309第2号）が発出されより医療機関への対応が求められています。

■ 目的

島根県内の医療機関内において、肝炎ウイルス検査結果の告知漏れを防ぐと共に、肝炎ウイルス検査において陽性となった患者を専門医受診に繋げる仕組みを構築する事により、肝炎患者の早期発見と治療を図り、肝臓発症予防及び重症化を予防する事。

■ 開催概要

1. 日時 : 令和5年9月12日(火) 19:00～20:30
2. 形式 : Web配信（zoomウェビナー）聴講形式はWebのみ
3. 対象者 : 島根県内の病院および有床診療所の施設管理者、診療部門責任者、医療安全責任者
検査部門責任者、肝炎医療コーディネーターまたは候補者、全ての医療従事者

当日は下記URL又は二次元コードより事前登録頂きご参加下さい。

<https://bit.ly/3Nh4RG>

ウェビナーID : 984 5061 8358

ウェビナーのパスコード : 088606



■ 講演会内容

セッション1 司会 : 出雲市立総合医療センター 院長 佐藤 秀一 先生

講演1 19:00～19:10 「島根県における肝炎対策について」

島根県 健康福祉部 感染症対策室 感染症対策第二スタッフ 下諸 可奈絵 主任保健師

講演2 19:10～19:25 「医療機関がすべき肝炎対策」

島根大学医学部附属病院 肝臓内科 診療科長 飛田 博史 先生

講演3 19:25～19:45 「医療安全の全体像」

島根大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授 深見 達弥 先生

セッション2 司会 : 島根大学医学部 内科学講座内科学第二 教授 石原 俊治 先生

特別講演 19:45～20:30 「日常診療における説明責任 - C型肝炎の事例に学ぶ -」

蒼法律事務所 医師・弁護士 長谷部 圭司 先生

■ ご協力のお願い

本講演会終了後、退出ボタンを押して頂きますとweb上でアンケートが立ち上がりますので、ご協力宜しくお願い致します。

主催 : アッヴィ合同会社

後援 : 島根県

お問い合わせ先 : アッヴィ合同会社 加藤訓寛 kunihiro.kato@abbvie.com 080-2020-5013